



本日 第2208回 2016年8月5日(金) No. 2093

本日のプログラム Today's Program

卓話担当者: 会員増強委員会

点 鐘

卓話者: 高島 昇 会員増強委員長

ロータリーソング 「君が代」・「奉仕の理想」

演題: 「会員増強に因んで」

前回 第2207回 2016年7月29日(金) 記 録

○斉唱: 「奉仕の理想」

○来訪者: 東尾張分區 ガバナー補佐

古田 嘉且君 (江南 RC)
地区副幹事 岩月 一郎君 (岡崎 RC)
分區幹事 波多野 智章君 (江南 RC)
分區副幹事 尾関 育良君 (江南 RC)
地区スタッフ 谷 泰男君 (岡崎 RC)

出席者: 会員 21 名中 19 名出席 出席率 90.47%

前々回補正出席率 7 月 15 日分 95.00%

会長あいさつ 山田 直樹



本日の例会に古田ガバナー補佐、岩月地区副幹事、波多野分區幹事、尾関分區副幹事、谷地区スタッフがお越しいただきました。先程、別室におきまして仲澤幹事、西尾会長エレクト、菊田副幹事ともども懇談会を催しさせていただいて貴重なご意見をいただきました。今後の当クラブの運営に活かしていきたいと思ひます。古田ガバナー補佐

にはこの後卓話をいただき、またクラブ協議会にて皆さまとお話しを持ちたいと思ひますので、どうぞよろしくお願いいたします。古田ガバナー補佐とは、私個人に浅からぬ因縁がありまして、年齢もほぼ同じでロータリー歴もほぼ一緒に、クラブの幹事も一緒にやり、私の 1 回目の会長時に彼も会長をやりということ、また今回こういう形で相対するとは夢にも思ひていませんでした。大変人柄の良い方で、まじめでオーソドックスな考え方をされることを常に感じていまして、尊敬申し上げております。また今日は、わがクラブに新入会員として松永洋子さんをお迎えすることになりました。私には望外な喜びであります。このあと入会式を行いますが、松永さんがゆっくりとクラブになじんでいただいて、松永さんの個性が花開くように願ひています。先週金曜日からの出来事では、ポケモン GO の騒ぎと相模原の養護施設で起きてしまった悲惨な事件が気になります。いつかもう少し詳しくお話ししたいと思ひますが、この表面的には成熟している今の社会で、私たちは本当に何が正しく、何が必要かを他人に頼るのではなく、自分自身で見つけてそれをもとに社会の中で質していかなければいけないとつくづく思ひます。

新クラブ結成推進／会員増強

	8月12日(金)	8月19日(金)	8月26日(金)	8月30日(火)
例	休会	卓話担当者: 高島 昇	卓話担当者: 山田 直樹	服部 良男ガバナー公式訪問
会	定款第 6 条	卓話者: "	会長	(瀬戸・瀬戸北・愛知長久手・
予	第一節により	演題: 「雑話」	卓話者: "	尾張旭 RC 合同例会)
定			演題: 「第 1 回クラブ フォーラム」	於サンプラザシーズンズ 卓話: 2760 地区 ガバナー 服部良男君 演題: 「ガバナー訪問に因んで」

幹事報告

- ・7/28(木) 第1回尾張旭市地域安全推進協議会
於尾張旭市役所 講堂 山田会長 出席
- 本日の会合：第3回クラブ協議会 於尾張旭市
商工会館内 第1会議室 13:40～
- 次回の会合：第4回理事役員会 於尾張旭市
商工会館内 第1会議室 13:40～

ニコボックス

○ガバナー補佐訪問に伺いました。本日はお世話になりますが、よろしくお願い致します。

ガバナー補佐 古田 嘉且君
地区副幹事 岩月 一郎君
分区幹事 波多野 智章君
分区副幹事 尾関 育良君
地区スタッフ 谷 泰男君

○本日、古田東尾張分区ガバナー補佐、岩月地区副幹事、波多野分区幹事、尾関分区副幹事、谷地区スタッフが例会訪問をしていただきました。よろしくお願い致します。

山田 直樹君・仲澤 昌容君・飯田 幸雄君
江尻 豪君・加藤 清久君・金森 俊輔君
菊田 利昭君・高島 昇君・富田 晃君
西尾 輝久君・舟橋 龍秀君・古橋エツ子君
古橋 裕志君・箕輪 良孝君・森井 晴生君

○本日、松永洋子さんを新会員としてお迎えすることになりました。大きな喜びです。松永さんらしい生き方でクラブになじんでいって下さい。歓迎申し上げます。

山田 直樹君・加藤 清久君・菊田 利昭君
高島 昇君・西尾 輝久君・舟橋 龍秀君
古橋エツ子君・古橋 裕志君・箕輪 良孝君
森井 晴生君

○ロータリークラブの一員となれて、光栄です。よろしくお願い致します。 松永 洋子君

○古橋さん、ご迷惑をおかけしました。今後ともよろしくお願い致します。 加藤 清久君

○夜間例会におこしいただいた皆様、ありがとうございました。次回もよろしくお願い致します。 森井 晴生君

○早退します。申し訳ございません。 飯田 幸雄君

○都合により、早退させていただきます。 桜井 雅博君

入会式



会員名：松永 洋子（まつなが ようこ）
推薦者：加藤 清久
職業分類：不動産仲介業

卓話

「ガバナー補佐訪問に因んで」

東尾張分区 ガバナー補佐 古田 嘉且



今年度、東尾張分区担当ガバナー補佐を仰せつかっております、江南ロータリークラブの古田嘉且でございます。よろしくお願い致します。本日は、限られた時間での訪問ではありますが、地区方針及び2016年規定審議会決定事項を中心に、お話させて頂きたいと思っております。

I. 地区方針

ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人々に奉仕し、倫理感と高潔さを失わず、世界理解、親善、平和を推進することにあります。今年度、服部良男ガバナーは、ジョン・F・ジャーム RI 会長方針の元に、IT化推進を行ない、ロータリーの活動の記録を残し、親睦と奉仕の感動の共有を行ない、ロータリーの魅力の発信を行なうことを推奨されております。手続要覧によりますと、ロータリアンは、地域社会におけるロータリーの発展と、奉仕活動を改善するために、ロータリーとは何か、ロータリーが何をしているのかについて、広くクラブを紹介するよう求められています。

しかし、今、ロータリーは、何をしている。この問い

に、誰も明確な答えは、返ってこない、広報は問題視されてきました。公共イメージ大規模調査結果によれば、ロータリーについて、名前も聞いたことがない人が4割、名前だけ聞いたことがある人4割を含めて、8割が、ロータリーが何をしているか知らない、という結果でした。ロータリーは、意義ある活動を行なっているにもかかわらず、それが認識されておりません。これによって、ロータリーが持つ可能性を、最大限に引き出すのが難しくなっています。日本の会員数は、1996年11月末の130,982人をピークに、3割以上が減少し、2016年3月末現在、88,667人で、9万人を切るようになりました。会員増強にも、広報は、深く関わっています。ロータリーのIT化推進とは、公共イメージの向上が難しい今、情報通信上の技術を駆使して、一般社会に、飛躍的に広報しようとするものです。ところで、国際ロータリーでは、創立100年を契機に、ロータリーがこれからもダイナミックな組織であり続け、世界中の地域社会に貢献していくための将来への指針として、ロータリー戦略計画を発表しました。2007年以来、RI理事会は、ロータリー戦略計画における3つの戦略的優先項目。すなわち、①クラブのサポートと強化 ②人道的奉仕の重点化と増加 ③公共イメージと認知度の向上 を掲げ、その目標を実現するために努めてきましたが、その中でも、ロータリー戦略計画の中心となるものが、IT化推進であります。一方、私達の価値観は、組織の考え方と方向性を定める原動力であり、戦略計画においても、重視される要素であります。そこで、国際ロータリーでは、2007年、ロータリーの中核的価値観として、奉仕 (Service)、親睦 (Fellowship)、多様性 (Diversity)、高潔性 (Integrity)、リーダーシップ (Leadership) の5つを採択し、ロータリーブランドそのものを示す重要なものとしています。国際ロータリーは、ロータリー戦略計画を遂行中であり、それは、ロータリーの輝きを持続可能にする戦略であり、中核的価値を再認識して、奉仕活動で仲間のロータリアンや、ロータリアンではない地域の人々に対して、その価値を認識してもらおうという、ブランドマーケティングだと言えます。2016-2017年度、国際協議会にて、ジョンF・ジャーム RI 会長の方針は、服部ガバナーに伝えられました。服部ガバナーは、地区のビジョンとして、「10年後、20年後も地区の輝きが、持続可能であること」を掲げられました。国際ロータリー第2760地区は、日本にある34地区の中でも、最も活性化し、輝いている地区の一つであるが、この地区の輝きが、10年後、20年

後も持続可能であり続けるには、今、国際ロータリーが取り組んでいる戦略計画を、当地区でも実行することが必要不可欠であると、服部ガバナーは言っています。そのために、今年度、当地区に、「戦略計画委員会」が新設されました。「研修委員会」は、実行組織としての役割と、委員を変更し、地区の各委員会と戦略計画との調整を行ないます。また、My Rotaryの登録と利用の促進、Club Centralの活用、ソーシャルメディアの普及のために、「公共イメージ向上委員会」を新設し、広報部門を統合しました。一方、今年度の最重点戦略として、オンラインツールとソーシャルメディアの活用を挙げてみえます。具体的には、第1に、My Rotaryの登録と活用。50%の達成を目標とします。My Rotaryとは、2013年8月に、一新されたRIのホームページ会員専用サイトのことです。第2は、Rotary Club Centralの活用。100%達成を目標とします。Rotary Club Centralとは、クラブの年度目標を立て、進捗状況を確認し、目標を達成するためのものです。第3は、ソーシャルメディアによる広報です。まずは、各クラブのフェイスブック開設を目標としています。

さらに、My Rotaryに登録・利用し、そして、Rotary Club Centralを利用し、Facebook、Twitterなどの、ソーシャルメディアを活用できるロータリアンを、My Rotarian (マイロータリアン) と呼び、地区委員会や各クラブで選任してもらい、公共イメージ向上委員会が支援しながら、マイロータリアンの数と質を向上させることが重要となります。ところで、今年度は、ロータリー財団設立100周年を迎え、各所で、これを祝う記念イベントが開催されます。当2760地区もこれに合わせて、「第4回ワールドフード+ふれ愛フェスタ」が10月22日～23日の2日間、昨年と同じ会場、栄地区 (久屋大通公園・希望の広場) にて開催されます。このプロジェクトは、各クラブ、地区をあげてのイベントであり、ロータリアン全員の参加型イベントとして位置付けされていますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

戦略計画

ロータリーのブランドマーケティング戦略



今年度の最重点課題

～オンラインツールとソーシャルメディアの活用～

① My Rotaryの登録と活用

② Rotary Club Centralの活用

③ ソーシャルメディアによる広報



II. 2016 年規定審議会決定事項

2016 年 4 月、シカゴで規定審議会が開かれました。そこで、ロータリーの方針の見直しを行ない、クラブ運営に大幅な柔軟性を認める決定をしました。何故、変更が必要なのでしょう？インド、韓国、ドイツ、台湾など、一部の国や地域で、ロータリーが急速に成長している一方で、米国、日本、英国、オーストラリア、カナダなど、会員数の減少や会員平均年齢の高齢化と言った問題に、直面している国や地域もあります。これまで 15 年間、ロータリーでは、会員資格、職業分類、クラブ運営に革新性を取り入れた試験的プログラムを実施してきました。これらの試験結果や会員からの報告によると、例会方法、会員資格、クラブへの参加方法などについて、クラブが決定できる柔軟性が多ければ多いほど、クラブに活気が生まれ、成長する傾向にあることが分かっています。

そこで、今回の規定審議会の決定により、すべてのロータリークラブは、例会や出席、クラブの構造、会員種類について、規定審議会が承認した新しいオプションを取り入れて、クラブ細則を修正することが可能となりました。具体的には、

- ・ 例会の曜日と時間を、自由に決定する
- ・ 必要に応じて、例会を変更または中止する
- ・ 奉仕プロジェクトまたは、社交行事を「例会」とみなす
- ・ 直接顔を合わせる例会、オンラインでの例会、その両方を交互に行なう例会、あるいは、両方の方法を同時に用いる例会のいずれかを選ぶ
- ・ クラブ例会を少なくとも月 2 回開催することなどです。

ただし、ここで注意して頂きたいことは、これらの規定審議会の決定は強制ではないので、標準ロータリー定款の現行の規定に変更を加えるものではありません。例会や出席、クラブの構造、会員種類について、変更を採用することをクラブが選択する場合は、クラブ細則を修正する必要があります。一方で、これらの

変更を加えないことを選択するクラブは、従来と同じ方法を取り続けることが出来るということです。また、その他の決定事項としては、

1. E クラブと従来型クラブを区別する必要性がなくなったこと
2. 会員種類について、クラブが地元のニーズに応じて準会員、法人会員、家族会員など、新しい会員種類を追加できるようになったこと
3. ロータリークラブ入会の資格を満たす現役ローターアクターが、ローターアクト会員であり続けると同時に、ロータリークラブに入会できるという二重会員身分
4. RI 細則とクラブ定款から「入会金」が削除され、新会員は入会金を支払わなくても入会できるようになったが、これは各クラブの裁量で今後も、クラブ細則に加えることで、入会金を徴収できる。

以上、いずれの変更も、2016 年 7 月 1 日に有効となります。しかしながら、規定審議会の変更があったからと言って、今、慌てて理事会等で、決議する必要はないと考えています。12 月のクラブ総会までに、各クラブにおいて、クラブ定款・細則に、十分議論を重ねて決定して頂ければと思っています。

III. ロータリー雑感

今、ロータリーが大きく変わろうとしています。ロータリーが創立された当時は、いかにして利潤を独占しようかと、資本家が弱肉強食の競争に明け暮れていた時代でした。もしも、この街の中で、心から何でも相談できる、また語り合える友人が居たらどんなに素晴らしいことだろう。そういう発想から、ロータリーは生まれました。

親睦と相互扶助から始まったロータリーは、アーサー・フレデリック・シエルドンの影響を受けて、職業奉仕に基づいた販売学の導入を受け入れて、大きく発展しましたが、やがて、社会奉仕活動に大きく転換し、今や世界最大の NPO 組織として、大規模なボランティア活動に専念するとともに、会員同士による積極的な相互扶助活動に、回帰しようとしています。ロータリーは、何処に進もうとしているのでしょうか。RI 第 2680 地区 田中毅パストガバナーによれば、1970 年代後半から、ロータリーは、大きな危機の時代に突入し、その原因として、第 1 に、経済システムが大きく変化し、虚業的投資会社が現われて、経済の実態を変えたと共に、職業倫理の低下をもたらしたこと。第 2 に、奉仕哲学の変化と間違った解釈。第 3 に、国際ロータリーの組織が巨大化、中央集権し、活動方針が変化し

たこと。第4に、クラブの管理運営が変化し、親睦が欠如し、クラブ例会が形骸化したことなどを挙げられています。従って、これらの諸問題を解決することによって、ロータリーは、奉仕クラブとして、発展することができると言われています。ところで、ロータリーは、ロータリー運動の概念を現す言葉であって、その原点となるのは、ロータリアン個人です。そのロータリアンの集合体が、ロータリークラブであり、ロータリークラブの連合体が、国際ロータリーです。国際ロータリーは、ロータリークラブの連合体であって、個々のロータリアンを規制する権限は、持っていません。国際ロータリーのテーマ、動向、要請を十分に理解することは、大切なことです。忘れてはいけない事は、ロータリークラブやロータリアンは、定款や細則に違反しない限り、どのように考えるか、どのような行動をとるか、自由なのです。これがロータリーにとって重要な自治権であり、逆に、難しいものなのです。何事でもそうですが、原点を知り、原点を大切にします。人や組織が成長するための基本だと思います。すなわち、ロータリー運動が、飛躍的に発展した、創立当初の奉仕理念の原点を探って、その原点に回帰しようとする努力が、必要ではないのでしょうか。例会の場で、職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を計り、その結果として、奉仕の心が生まれる。そして、例会で学んだことを奉仕活動として、実践する場が、家庭、職場、地域社会、国際社会などの社会です。これが、「入りて学び、出でて奉仕せよ」です。ロータリアンの奉仕の実践の全てが、この言葉に、凝縮されています。今一度、思い起こす必要があるのではないのでしょうか。2012-2013 年度国際ロータリー会長 田中作次氏は、ロータリーは、忍耐と寛容と謙虚さが大切と言われています。この三つの言葉をもって、ロータリー活動を実践していくならば、ロータリアンとして、素晴らしい日々を過ごせるとも言われています。その田中作次元 RI 会長に、基調講演をお願いし、2016-2017 年度東尾張分区 IM を 2016 年 11 月 20 日（日）、名鉄犬山ホテルにて、開催させていただきます。当日は、田中作次元 RI 会長との質疑応答の時間を、十分、取っておりますので、皆様の参加をお待ちしております。よろしくお願い致します。ロータリーに入会した時、ロータリーの本質は「出会い」とであると、よく言われました。「善き仲間との出会いが、ロータリーの目指すところである」と言う方も少なくありません。奉仕とは、他者への働きかけであるように見えて、実は、自分との

戦いであり、結果として、心の豊かさが与えられるもの、ではないでしょうか。皆様との「善き出会い」に、心から感謝申し上げます。本日は、お忙しい中、ご清聴頂きまして、本当に有り難うございました。

ロータリー雑感

ロータリーの本質は「出会い」である。

善き仲間との出会いが、
ロータリーの目指すところである。

奉仕とは、他者への働きかけであるように見えて、
実は、自分との戦いであり、
結果として、心の豊かさが与えられるもの。

Rotary
International

東尾張区
尾張旭市

会長幹事懇談会

日時：2016 年 7 月 29 日（金）11：30～

場所：尾張旭市商工会館内 第 1 会議室

出席者 古田 嘉且 ガバナー補佐
岩月 一郎 地区副幹事
波多野 智章 分区幹事
尾関 育良 分区副幹事
谷 泰男 地区スタッフ
山田 直樹会長・仲澤 昌容幹事
西尾 輝久会長エレクト・菊田 利昭副幹事

第3回クラブ協議会

日時：2016 年 7 月 29 日（金）13：40～

場所：尾張旭市商工会館内 第 1 会議室

出席者 古田 嘉且 ガバナー補佐
岩月 一郎 地区副幹事
波多野 智章 分区幹事
尾関 育良 分区副幹事
谷 泰男 地区スタッフ



《各委員会・委員長報告とガバナー補佐への質問》

会計委員会

委員長 仲澤 昌容

Q、他クラブで上手い会費の使い方と思われたケースがあれば教えてください。

A、会員減少に伴い、使えるお金が限られてきています。なので、よく選択してのち、事業を行っているとの話を聞きます。

会員組織委員会・職業分類委員会・会員選考委員会

直前会長（ロータリー情報） 委員長 古橋エツ子

Q、職業分類は1業種5名ですが、会員増強を進める中での留意点をご教示ください。

A、同業種・家族会員など、独自の会則で定めることができます。2013年に、規程審議会では、「業種を持たない人―専業主夫・主婦など―」も、認められました。

クラブ管理運営委員会 SAA 会場委員会

委員長 箕輪 良孝

Q、管理運営委員会としては、クラブ再生委員会を設置し今後のクラブについてあらゆる角度から協議する。また楽しい例会を目指していますが何かご指導いただければ。

A、再生委員会の設置は他に例がなく大いに進めて下さい。楽しい例会とは 中身のある例会と思います。卓話の工夫等内容を考えると良いと思います。

親睦活動委員会 ニコボックス委員会

委員長 森井 晴生

親睦活動委員会

親睦と親睦活動とは少し異なる。RC メンバーの親睦とはクラブで違った職種の方々と出会い、その方々と心を開いて生涯にわたって付き合い、友情を育んでいくことこそが親睦である。また、その具体的な活動として親睦活動があるが、その他に同好会（ゴルフ・茶道・花道・ワイン・大相撲・野球観戦など）を会員家族も含めて行うということも有効である。

ニコボックス委員会

明るく協力をお願いします。

職業奉仕委員会 社会奉仕委員会

委員長 古橋 裕志

職業奉仕委員会

各クラブ職業奉仕の活動は、職場例会を中心に優良従業員表彰、メンバー医師による健康診断、自分の職業についての第3者に対する紹介等。各クラブ独自の活動がなされていると思いますが、その他には、職業奉仕として活動はありますか。

社会奉仕委員会

我がクラブは、創立以来、地域との各種行事に参加していますが、今後もこのような活動をしてまいります。が、いかがですか？

会員増強委員会

委員長 高島 昇

Q、勧誘対象者個人データには注意を要するが、管理についていかにするか。

A、定期的訪問と理解可能な相手とする。

青少年奉仕委員会 国際奉仕委員会

委員長 加藤 清久

青少年奉仕委員会

Q、本委員会は、過去からの継続事業が多く、委員長経験者に、良く意見を聞き事業を踏襲してゆきたいと考えています。できれば、今年度、一つ、新しい事業を実施できたらと思っています。

A、それで良いと思います。地域に密着した要望等吸い上げてください。

国際奉仕委員会

Q、我クラブは、外国と姉妹クラブが無く本委員会の活動も制限されますが、今年は、ベトナム、ミャンマー等へ足を運び、国際奉仕の芽を見つけないと考えています。

例年、当地区の大学と連携して「外国の学生さんとの懇談」、続けていければと考えています。

A、外国人向けの日本語講座、外国人団体の寄付等、実施しているクラブもあります。

ロータリー財団委員会 米山奨学委員会

委員長 井田 武憲

Q、ロータリー財団と米山奨学会の現況をお聞きしたいと思います。

A、ロータリー財団は100周年になります。寄付金は税金の対象にもなり、多くの寄付金を望みます。また、米山奨学会への寄付もよろしくお願いします。



《クラブ協議会の様子》